



男女共同参画週間事業

【セミナー】

誰もが安心して暮らせるさぬき市の実現を目指し、自分の中の当たり前について見つめ直してもらう機会として、LGBT当事者の経験談を交えた講演会を開催しました。
この日は、4つの市民グループによる市民企画事業の前年度実績報告や、「男女共同参画社会」作品コンテスト優秀作品表彰式も行われ、自分らしくいきいきと生きることができる男女共同参画社会について理解を深めました。



日 時 6月29日(土) 9:30~11:10
場 所 さぬき市役所
講 演 「LGBT性の多様性とは」
筒井英二さん(Xジェンダー当事者)



【パネル展】

期 間 6月23日(日)~29日(土)
場 所 さぬき市役所 市民ホール
内 容 男女共同参画社会作品コンテスト
(ポスター・書・川柳・俳句)
市民企画事業実績報告
児童虐待防止啓発
DV防止啓発
男女共同参画クイズ など



※ 詳しくは、さぬき市ホームページ[<https://www.city.sanuki.kagawa.jp/executive/cooperate>]をご覧ください。 ⇒⇒⇒

男女共同参画につながる市民企画事業 ~男女共同参画推進活動事業~

男女共同参画意識の変化につながる市民主体の活動を支援しました。

「傷つく子どもを救うために」 ~人とひとのつながりを大切に作る地域づくり~	さぬき市友好翼の会	参加者 122人
原宿カウンセリングセンター長信田さよ子氏を招いた講演を開催することで、児童虐待や家庭内暴力などの問題解決に向けた取り組みについて学び、「子どもを肯定しよう」「子どもも親も幸せであらねばならない」「人は変わることができる」という意識を持ち、市民が自分らしくともいきいきと生きることができるまちづくりを考えてもらう機会を提供した。		
「災害時の情報取得方法を学ぶ」	和楽会	参加者10人×5回×2講座
生活に身近な「スマートフォン」を活用すれば、安心安全コミュニティシステムをはじめ、各種防災アプリなどを駆使して災害時に役立つ情報を得ることができるものの、高齢者の中には使いこなすことができていない人も多い。そこで、高齢者が防災の基礎知識や、スマートフォンの使い方を学ぶ講習会を開催し、災害時の心構えや、的確な行動などの正しい情報の取得方法を学び、常に連絡を取り合える方法を習得し、住み慣れた地域での安心安全な暮らしについて考えてもらう機会を作った。		
「自分探しのキャリア教育」 ~何かをしたい気持ちを大切に~	さぬき市キャリアサポート	中学生 236名(3回)
中学生が、将来の夢や仕事について考えるためには、具体的な職種を知るだけでなく、自分の特性を生かすことなども必要である。そこで、ジェンダーの視点や将来の「理想」とする自分について考えることで、自己肯定感や他者肯定感を育んでもらう取り組みとして、さぬき市内中学校の職場体験学習の一環として「仕事カード」を使ったワークショップを実施した。		
「絵本から学ぶ共生と自分らしさ」	お話ボランティア野の花	ブックリスト配布10か所 パネルシアターお話会6回
男女共同参画の視点でピックアップした絵本の「ブックリスト」を作成し、保護者の絵本選びに役立ててもらった。また、読み聞かせの基礎の学び直しなどを行った上で、「パネルシアター」を作成し、子どもたちに、互いに尊重すべき存在であることや、感じるだけでなく「考える」ことの大切さを知ってもらい、一人ひとりが個性と能力を伸ばし自立した個人として成長することを願って、小学校、幼稚園、児童クラブ、図書館などでお話を開催した。		